

## 第1回さいたまはーと推進協議会 議事要旨

日時：平成29年1月19日（木）14:00～16:30 場所：さいたま市役所 議会棟3階 全員協議会室

## 【たのしむ】

（レクリエーションルートについて）

- ・荒川サイクリングロードでの通行環境整備で取組む啓発看板は、サイクリスト以外の利用者に対しての注意喚起にも繋がるので効果的である。

（サイクルサポート施設について）

- ・サポート施設については、色々なところで実施しているが、地元との交流が少ないので、そのような場を考えられるとよい。

## 【まもる】

（交通安全教育の推進について）

- ・「自転車は車道走行」を周知するため、車のドライバーに対する啓発として、自転車追い抜き時に間隔を1.5m空けることを、伊豆で開催したイベントで実施した。愛媛では、ポスターを作成して周知を図っている。
- ・自転車安全教育を実施する場として、本来なら恒久的な施設としてサイクルパークを整備して実施できればよいが、現状ではなかなか難しいので、自動車教習所を活用してはどうか。
- ・日本の交通に関しては、弱者優先になっていないので、そこを教育できる方法の仕組みが重要ではないか。

（正しい自転車利用の啓発について）

- ・安全教育には、人材育成が重要であり、ルールを守らない大人の行動がポイントとなる。そのため、親子で一緒に走れる機会があるとルール遵守の浸透に繋がるのではないか。
- ・自転車の通行ルールは決まっているが、細かい部分ではどの様に守っていくか難しいところもある。例えば、2段階右折を実際に通行する場合、どの様にするのか乗ってやってみて、どう伝えていくかが重要ではないか。

## 【はしる】

（自転車通行環境の整備について）

- ・自転車通行帯の整備に合わせて設置した、注意喚起の看板に英語表記の看板を交互に設置することで、外国人への啓発対応のほか、子どもに対する英語教育にも繋がるのではないか。
- ・自転車ネットワーク整備では、その効果として自動車側の意識の変化も自転車側に発信できるとよい。整備された道路を見ていると、自転車専用通行帯がある場所は、自動車は踏まずに通行していた。

## 【とめる】

（駐輪場の適正配置の推進について）

- ・駐輪場の適正配置の取組で、方向別に考えた事例は過去にも例がない。今後、駐輪場の整理・統合を進めることで、撤去台数を減らせたり、駐輪場の管理費用などの予算軽減にも繋がるのではないか。

## 【その他】

（人材育成について）

- ・クラブチームでは、走行時のルール、早く走るコツ、自転車のメンテナンスチームの中で知識のある人が教えている。その3つの知識をバラバラでなく全てできる人材を育成して認定できる制度があるとよい。